



# 10月の園だより

令和5年 10月 1日  
目黒区立目黒本町保育園園長

園庭の稲が黄金色にこうべを下げ、収穫が間近になってきました。5歳児クラスの子どもたちが春の田植えから毎日水やりをし、藻を取りながら大事に生長を見守った米は粳摺り、脱穀を行い自分の手でおにぎりを作って食べる予定です。長い月日をかけて世話をしたり、根気よく精米したりする活動が子どもたちの達成感や食べ物を愛しみ大切にする気持ちに繋がって欲しいと思います。

先日悔しそうな表情をした子が二人保育士に連れられて事務所にやってきました。ケンカをした二人が話し合うとのことでした。「なんで押しちゃったの」「だって並べていたタイヤを持っていったから」「使っていないやつだと思った」「だめっていったじゃん」とお互い怒りが少しおさまらないようでしたが、一呼吸おいて「どうすればよかったのかな」と保育士が仲立ちすると「使っていないやつ(別のタイヤ)教えてあげる」「押しちゃだめ」とそれぞれが自分の言葉で話していました。ケンカはお互いの気持ちのすれ違いで起こりどちらが正しい、ということはありません。怒った気持ちを相手の子に言葉で伝え、時間をかけて相手の言い分受け入れたり、自分の怒りを鎮めたりしながら、心を切り替え、また一緒に遊びに向かっている力になっています。子どもたちの社会性の一歩は喜びも怒りもありのままの気持ちを受け止めてもらえる友達や保育士の存在だと感じます。

10月7日は運動会です。各クラスが日頃からの運動遊びを表現できるよう工夫し、子どもたちと取り組んでいます。当日は保護者の方の応援が力となり、一人ひとりが最高の笑顔を見せてくれるよう願っています。



## \*行事予定\*

- 7日(土) 運動会(2・3・4・5歳児)  
碑小学校
- 18日(水) 芋掘り遠足(4・5歳児)
- 31日(火) 幼児お楽しみ会(3・4・5歳児)
- 中旬 身体計測 避難訓練

～個人面談と保育参観の  
お知らせ～



今月より順次、クラスごとに個人面談、保育参観を予定しております。日程などの詳細はコドモンで配信させていただきます。



## ～異年齢のかかわり～

4歳児クラスで1歳児の子が遊んでいた日のことです。ままごとコーナーでは数名の子がレストランごっこやお医者さんごっこをして遊んでいました。4歳児の子が人形に聴診器をあてたり、フェルトを巻いたり治療をして人形を布団に寝かせると「ちょっとお出かけしてくるね」とその場を離れていきました。するとそばで見ていた1歳児の子が「やってみていいかな」という表情でそっと聴診器を持って人形に当てたり薬を塗ったりしています。4歳児の子がやっていた事をよく見ていたのですね。「ただいま」とお出かけから戻ってきた子がその様子を見たので、「私がやっていた」と怒るかなと保育士が見守っていると「今度は〇〇ちゃんがお医者さんだね」「熱がでちゃったの」と人形を連れてきて1歳児の子に手当をお願いしています。1歳児の子がお医者さんをやりたかった気持ちを察して、さりげなく患者役になってくれたのです。聴診器やフェルトを巻くのもたどたどしい姿に、「やってあげようか」と聞きながら、その子もうんとうなずきながらやってもらいます。異年齢のかかわりの中で自分の理想のお姉さん像をイメージしながら小さい子に接してくれています。そんなやりとりを繰り返しながらいつか1歳児も大きくなった時にまた小さい子に同じように寄り添ってくれる姿へつながっていくことと思います。



# 運動遊びの様子



## ひよこ組

ずり這いや四つ這い、歩行が出来るようになり自分で好きなところに行けるようになったことで、「これ何」「やってみよう」とする好奇心が芽生えてきています。「ホールに行こう」と声をかけ、廊下に出るとホールまで這い這いや歩いて移動しています。長い廊下で幼児クラスの子に手を振られ、立ち止まってにっこり。そしてまた進んでいきます。ホールでは歩行が安定してきた子は動物の引き車を手に歩いています。自分の後ろをアヒルがついてきているかを振り返り“いるかな”と確認している子や腕が上がってしまい引き車を担ぐようにしている子も満面の笑みで歩いています。その宙に浮いた引き車の揺れを見つけ“動いているものはなんだろう”と手で触りたくてずり這いや四つ這いで追いかける姿は少し大げさかもしれませんが、入場行進のようにも見え、微笑ましいです。ホールやテラス、園庭など保育室以外の場所でも、子どもたちの興味がさらに広がるよう環境設定を工夫しながら、同じ目線で体を動かして遊んでいきたいと思ひます。

## りす組



夏に水遊びを経験したことでいろいろなことに興味を持ち、やってみようとする姿が増えてきています。園庭では友達がタイヤマットに乗っているのを見ると、「〇〇も」と言って大きなマットを引きずりながら運んできて、自分で友達の隣に乗せて登り始めます。マットに足をかけたり、グイッと腕に力を入れたりしながら全身で登ろうとしている姿に「がんばれ、あともう少し」とそばで励ますとさらに力を入れ、マットの上によじ登り慎重に立ち上がると保育士を見て「できたー」と両手を挙げて嬉しそうです。保育士がリズム遊びのウサギの歌を口ずさむとぴよんぴよんと跳び始め、勢いがついてくるとおととと一となることもありますがバランスを取りながら揺れるスリルを楽しんでいます。また、保育士が両手を持ってつないであげるとさらに大きくぴよーんとジャンプして着地すると、「もう1回」と言って何度もリクエストして楽しんでいました。

子どもたちのやりたい気持ちにこたえながら、保育士や友達と一緒に散歩先や園庭などいろいろな場所でたくさん歩いたり走ったりして、自由に身体を動かすことを楽しんでいきたいと思ひます。

## うさぎ組



散歩先や園庭に出ると、子どもたちから「せんせー、おいかけて〜」と声が上がります。「数を数えるよ〜」と言うと嬉しそうに逃げ出します。保育士が「1・2・3・・・10。行くよ〜」という友達と一緒に声をひそめ隠れたり、捕まらないようにと一定の距離を保ちながら保育士の動きに注目しています。「どこかな〜、ここかな〜」と見えないふりをしながら近づいていき「わっ」と脅かすと歓声をあげながら逃げいきます。保育士も「つかまえちゃうぞ〜」と低めの声で全力で追いかけると、捕まらないように必死に走ります。「タッチ〜」「つかまえた〜」と声を掛けると同時に笑い声が響き渡ります。そのやり取りが面白く、たくさん汗をかきながらあっちこっちと繰り返し走ります。これからますます身体を使うことが楽しくなってきます。子ども達のやりたい遊びや簡単なルールのある遊びを取り入れながら友達や保育士と一緒に遊んでいきたいと思ひます。